

市立  
小諸高原美術館・  
白鳥映雪館



白鳥映雪生誕 110 周年記念

「映雪物語 画業とその生涯」の見どころ

小諸高原美術館・白鳥映雪館で現在開催中の白鳥映雪生誕 110 周年記念企画展「映雪物語 画業とその生涯」について、見どころをご紹介します。

展示中の「ボンゴ（下図）」、「潮風」、「桔梗」は初公開となる作品です。「ボンゴ（下図）」は、映雪画伯が昭和 32 年（1957）に第 13 回日展で特選・白寿賞を受賞した作品の下図で、いわば本画を描く前の設計図ともいえます。

昭和 36 年（1961）作の「潮風」は、寒色系の重厚感あふれる筆致で船上の女性像を描いた意欲作で、海風や波の動きを感じさせます。「桔梗」は、画伯が晩年に病で倒れた後、利き手が使えず反対の左手で 93 歳の時に描いた作品です。背景の桔梗の花々が、画面上部の天に向かって星に変わっていく情景が描かれています。

その他にも、美人画をまとめたデジタル映像や未公開のスケッチ、子どもたちとの交流パネルも展示しております。この機会に白鳥映雪の偉大な画業をぜひご覧ください。



- ▶ 会 期 ~ 7/15 (金) 9:00 ~ 17:00
  - ▶ 会 場 小諸高原美術館・白鳥映雪館  
第 1・第 2 展示室、白鳥映雪特別展示室
  - ▶ 休館日 月曜日
- ☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家



海野和男の小諸日記

絶滅が心配されるアサマジミ

浅間山の名を冠するアサマジミは長野県を中心に、周辺県の高原、北海道の一部で 6 月から 7 月初めに見られるシジミチョウだ。小諸市はその分布の中心と言ってもよい地域だ。

林縁の草原のごく一部の地域に生息するので、森林化、また逆に伐採などで消えてしまう産地も多い。さらに分布が分断されているので、産地による個体変異も多く、長野県希少動植物保護条例により、採集禁止になっているにもかかわらず、マニアにも付け狙われる。

現在生息している場所はごく狭い地域で、数カ所しかない。だから、その場所の環境を保全すれば良いのだが、今のところそうした保護活動は行われていない。道路脇に生えるナンテンハギを幼虫が食べるのだが、草刈りで刈られてしまったり、オオブタクサなどの外来植物に覆われてしまったりと、苦難の道を歩んでいる。小諸市が中心になって環境保全が行われ、子や孫の時代にも小諸市のチョウとも言うべきアサマジミが飛び交う姿が見られると良いのだが。



上はオス、下はメス  
(小諸市内)

**高齢者の宅配 食事** 昼食 夕食

ご飯付き(1食分) **530円(税込)**  
※おかずのみは1食分430円(税込)

週1回おかず1食からのご注文も

フードサービスことぶきが  
お届けします! **配達無料** で **ご自宅** まで  
**お届けします!**

【配達エリア】小諸市内・御代田町・軽井沢町・佐久市の一部エリアOK!  
※上記以外にお住まいの方もお気軽にご相談ください。

●ご注文・お問い合わせはお気軽にどうぞ!  
**フードサービスことぶき** TEL.0267-25-8009

〒384-0808 小諸市御影新田池ノ上2090-1 フードサービスことぶき 検索 【受付時間】9時~17時(土・日・祝除く)

運用代行サービスいたします! twitter facebook LINE YouTube Google YAGCO

**これから始めるWEB広告**

こんなお悩みございませんか?

- WEB広告を出してみたいけど、何をすれば良いかわからない...
- 自社の商品・サービスをどうやってPRすれば良いかわからない...
- そもそも良くわからないし、忙しくてやってられない...

様々な種類の SNS・WEB 広告を一括サポートします!

A/C 地域情報&広告株式会社 アイク 小諸市御幸町2-12-1 Tel.0267-23-4474 www.aic-ad.co.jp